科	科目番号 30				科	科目名 滋賀の環境																
英	文	科	E	名								En	vironi	nen	t of	Shiga						
大学•短期大学名				びわこ学院												大学						
連		絡		先		びわこ学院大学 教務課																
连		巾口		ノし	Ε	TEL: 0748-35-0002							FAX :				0748-23-7202					
担	<u> </u>	á	教	員				佐	々木	和	之				(教育	福祉	<u> </u>	学部	非常	勤請	講師)
実	挤	<u>t</u>	方	法		対	面授	業	業 遠隔授業						対面・遠隔併用							
教		室名				2	102(第6)	第6)講義室 会場					びわこ学院大学								
授	業	¥	期	間	20	25	年	9	戶	1	30	日	(リ	()	~	2026	年	1	月	20	日	(火)
					<	事週	火	翟日:	>	1	H	限·	·講時			9	:	00	~	10	:	30
超	過時	の i	選考	方法										抽過	隆							
					定	其	1	試	験	(4	퇕	記)				0				%
成	績	■亚 4	面っ	方 法	レ	ポ	_	٢	試	験	(期	末)				22				%
	小貝	pT	ш		平	常	点	出	席	- ‡	受	業 :	態度	Ę)				0				%
					そ	の	他	(講	義	内ミ	=	レァ	ド ー	ト)				78				%
別	途	負 :	担	費 用		•			な	し				•		<u>あり(</u> 5	境イ	ベント	等の	交通費	()	円
そ	の他	也特	記	事項				-	4L(フ	ィール	ドワ	一ク	、ゲス	・・ ス	ピーナ	」ー、ミニ	ッツ ・ ^	<u>۱۲</u>	—)	•		

<講義概要・到達目標>

近年、環境学習の重要性が高まっている。身近に「環境」をうたうものが溢れる中、この講義では滋賀という場を通 じて「環境」を捉え直す。前半では、人間生活と生き物の視点から滋賀の環境を捉え、環境に対する取り組みや、環境の認識について学ぶ。後半では、いかに子ども達へ環境問題を伝えるかをテーマとして、フィールドワークなども 踏まえながら、演習も行っていく。

- ① 環境問題を子ども達へ伝えることをテーマとして、各自が滋賀の環境を認識することができる。 ② 各自が環境への関わり方についての視座を持つことができる。 ③ 身近な環境問題について、複数の視点から問題を捉え、論点を明確に表現できる。

く授業スケジュール>

回月日				テーマ・キーワード					
9	月	30	田	人と環境					
10	月	7	田	市民活動と環境					
10	月	14	田	人と自然					
10	月	21	日	環境の認識					
10	月	28	田	環境の調べ方					
11	月	25	田	グリーン購入運動を通じた環境への関わり					
12	月	2	日	エネルギー問題と地球温暖化					
12	月	9	日	環境学習					
12	月	16	日	環境をテーマとした学習計画					
12	月	23	日	学びを誘う学習プログラムの立案					
未定			日	フィールドで見つける滋賀の自然1					
未定			日	フィールドで見つける滋賀の自然2					
1	月	6	日	学習のまとめと評価・授業計画と実施における視点					
1	月	13	日	地域の魅力を調べる「地域調べ」					
1	月	20	日	地域調べの記録化と活用					
	10 10 10 10 11 12 12 12 12 未未 1 1	9 月 10 月 10 月 10 月 11 月 12 月 12 月 12 月 1 月 1 月 1 月 1 月	9 月 30 10 月 7 10 月 21 10 月 28 11 月 25 12 月 9 12 月 16 12 月 23 未定	9 月 30 日 10 月 7 日 10 月 21 日 10 月 28 日 11 月 25 日 12 月 2 日 12 月 9 日 12 月 16 日 12 月 23 日 未定 - 日 1 月 6 日 1 月 13 日 1 月 20 日					

<教科書・参考書>

適宜、プリント、資料を配布する。